

平成31年度予算の主な新規事業

1 タブレット連携議場モニターの導入 【議会費】

(議会総務課)

- ・ 予算額 (議会運営事業) 1,093千円
- ・ 議員が使用しているタブレット端末と議場に設置する大型モニターを連携させ、傍聴者にわかりやすく、開かれた議会運営を行う。

2 RPAの試験的導入 【総務費】

(情報戦略課)

- ・ 予算額 (ICT推進事業) 4,400千円
- ・ RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を一部の定型業務(人手と時間を要する非システム化領域の業務)に導入し、職員の業務負担軽減やミス防止の効果を図る。

3 住民票等コンビニ交付サービス開始 【総務費】

(情報戦略課、市民課、市民税課)

- ・ 予算額 (基幹系システム運用事業ほか) 43,222千円
- ・ コンビニエンスストアでマイナンバーカードを利用して住民票の写しや印鑑登録証明書等が取得できる交付サービスを導入する。

4 在住外国人相談事業の開始 【総務費】

(地域活動支援課)

- ・ 予算額 (国際交流推進事業) 252千円
- ・ 各種相談時における英語、スペイン語対応の相談員を配置し、在住外国人に配慮した相談事業を開始する。

5 公共交通空白地有償運送支援事業補助制度の創設 【総務費】

(交通政策室)

- ・ 予算額 (公共交通対策事業) 1,500千円
- ・ 地域の特性に配慮した輸送手段を構築し、地域住民のおでかけの足を確保するNPO法人等の取組を支援するための補助制度を創設する。

6 民間保育園・幼稚園の認定こども園化への補助 【民生費】

(保育課)

- ・ 予算額 (保育所等支援事業) 144,062千円
- ・ 認定こども園へ移行する民間保育園、幼稚園へ補助を行い、幼児教育や保育を提供する機能の充実を図る。

7 がんばる商店街等応援補助制度の創設 【商工費】

(産業振興課)

- ・ 予算額 (商工業団体支援事業) 7,000千円
- ・ 商店街等が実施するイベントやインバウンド対策(キャッシュレス化、多言語対応など)を支援するための補助制度を創設する。

8 トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園周辺の魅力と利便性向上 【土木費、民生費】

(道路公園課、子育て支援課)

- ・ 予算額 (道路改良事業、都市回廊空間整備事業、公園緑地管理事業ほか) 137,396千円
- ・ わんぱく池の改修工事とライトアップに伴う開園時間の延長により、更なる魅力の向上を図る。
- ・ 公園入口の交差点化と駐車場の拡張工事により、公園利用者の利便性向上を図る。

9 地方創生推進交付金を活用した移住定住支援の充実 【土木費】

(まちづくり推進課)

- ・ 予算額 (移住定住支援補助事業) 10,020千円
- ・ 東京圏から本市に移住し、県のマッチングサイトに登録した中小企業等への就職者に対して地方創生推進交付金を活用した支援を行うことで、移住定住を推進する。

10 防火地域・準防火地域の指定 【土木費】

(まちづくり推進課)

- ・ 予算額 (都市計画管理事業) 1,287千円
- ・ 飯能駅・東飯能駅周辺を中心市街地ゾーンに防火地域・準防火地域を指定することで不燃化を図り、防災のまちづくりを推進する。

11 防災行政無線のデジタル化などによる地域防災力の向上 【消防費】

(危機管理室)

- ・ 予算額 (防災行政無線再整備事業、消防団事業、自主防災組織育成事業) 205,866千円
- ・ 防災行政無線をデジタル化し、山間部でも届きやすく聞こえやすい方式に再整備する。
- ・ 地域の防災活動のリーダーとなる人材育成のため、防災士資格取得者へ補助を行う。

12 放課後子ども教室の運営開始 【教育費】

(生涯学習課)

- ・ 予算額 (青少年健全育成事業) 1,330千円
- ・ 勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域住民との交流活動等を通じて、子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。

平成31年度予算の主な継続・拡充事業

1 ふるさとはんのう応援事業（継続） 【総務費】

（賑わい創出課）

- ・ 予算額（ふるさとはんのう応援事業） 93,435千円
- ・ ふるさと納税を積極的に展開するため、市の特産品をはじめとした返礼品を充実させる。
- ・ 様々な媒体を使った広告宣伝を積極的に行い、認知度の向上を目指す。

2 戦略的シティプロモーションの推進（拡充） 【総務費】

（情報戦略課）

- ・ 予算額（広報発行事業、市ホームページ運営事業、情報メディア発信事業） 35,029千円
- ・ 市所有であるホームページや拡散力の高いまとめサイトなどのWebメディアを利用するなどメディア特性を生かした情報発信を行う。

3 放課後児童対策事業（拡充） 【民生費】

（保育課）

- ・ 予算額（放課後児童対策事業） 301,061千円
- ・ 放課後児童対策へのニーズの高まりから児童クラブの分割等を行い、受入人数の拡大を図る。
- ・ 障害児を受け入れているクラブや小規模なクラブへの支援を行う。

4 0歳児おむつ無償化事業（継続） 【民生費】

（子育て支援課）

- ・ 予算額（0歳児おむつ無償化事業） 26,662千円
- ・ 0歳児の健やかな成長を願い、保護者を対象におむつ等の育児用品購入に対して助成を行う。

5 子ども医療給付事業（継続） 【民生費】

（保険年金課）

- ・ 予算額（子ども医療給付事業） 233,177千円
- ・ 中学3年生までの医療費の支給により、経済的負担を軽減し、子どもの保健の向上を図る。

6 コウノトリ事業（拡充） 【衛生費】

（健康づくり支援課）

- ・ 予算額（コウノトリ事業） 6,826千円
- ・ 少子化対策の一環として、不妊治療及び検査を受ける夫婦に対して費用の一部を助成する。また、不育症の治療を推進するために不育症検査費の一部助成を開始する。

7 鳥獣被害対策事業（拡充） 【農林水産業費】

（鳥獣被害対策室）

- ・ 予算額（鳥獣被害対策事業） 17,280千円
- ・ 鳥獣被害対策実施隊員（専門員）を3人に増員し、鳥獣被害対策を強化する。
- ・ LPWAを活用したIoTネットワーク（デバイス付きわなの設置）により、鳥獣捕獲の効率化を図る。

8 訪日外国人をターゲットにしたプロモーション（継続） 【商工費】

（観光・エコツーリズム推進課）

- ・ 予算額（観光推進事業） 3,300千円
- ・ 国内のホテルや外国人向けの日本旅行を企画する会社などへの働きかけにより、訪日外国人の来飯にダイレクトにつながるプロモーションを展開する。

9 道路改良事業（継続） 【土木費】

（道路公園課）

- ・ 予算額（道路改良事業） 279,877千円
- ・ 道路交通の安全性や利便性の向上、交流人口の増加に寄与する交通ネットワークや生活環境の整備を推進する。

10 奥武蔵小学校、加治小学校の施設改修（継続） 【教育費】

（教育総務課）

- ・ 予算額（小学校施設管理事業＜繰越分含む＞） 383,246千円
- ・ 奥武蔵小学校のトイレ及び外壁等の改修を行う。（平成30年度からの繰越分203,000千円）
- ・ 加治小学校の空調設備を改修するなど児童の安心安全な学校生活環境を整備する。

11 学校におけるICT環境の整備（拡充） 【教育費】

（学校教育課）

- ・ 予算額（小・中学校情報教育推進事業、校務ICT推進事業） 78,283千円
- ・ 教育用コンピュータの整備推進とともに校務支援システムを導入し、更なる校務の効率化を図る。
- ・ タブレット端末を授業に導入し、主体的、対話的で深い学びの実現に向けたツールとして活用する。

12 土地区画整理事業（継続） 【土地区画整理特別会計】

（区画整理課）

- ・ 予算額（土地区画整理管理費、土地区画整理事業） 1,410,695千円
- ・ 土地区画整理事業に係る設計、建物移転、造成工事、道路整備工事などを実施する。（平成30年度からの繰越分131,400千円、平成31年度事業分1,279,295千円）